**レッスン：PYR 78**

**テーマ：最も広大なヘブン/サイコノエティカル界**

**PYR78 KE08/No.4/S3/12/07**

**私の姉妹・兄弟たち、**

**スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。**

**過去のレッスンでWidest of Heavens（最も広大なヘブン）について話しました。Widest of Heavens、それは私たちがアプローチすることのできない（特にこの実存の諸世界では）現れです；そしてその現れについて3次元のシンボルはありません。**

**Widest of Heavens　とは何でしょうか？それは(＊絶対存在の）主な特質の一つです。**

**絶対存在の本質。この現れのステートを絶対存在と分離させることは絶対にできません；それは創造界の大いなる母です。創造の諸世界においてLifeの現れが表現され､顕現されているのはこの大いなる母を通じてです。そしてまた、それら全ての現れがアウタルキー（＊自足状態）に、ワンネスに戻る時、それもまた大いなる母を通じてなのです。ですから、現在のパーソナリティーを含め何であれ全てのヘブンで現れているもの、それは皆大いなる母、つまりWidest of Heavensを通じての現れなのです。レッスンにおいて述べましたが、母親としての女性が出産する時には、その現れを出産させるのは大いなる母なのです；実際、私たちはそのような出産においてひざまずくべきなのです。なぜなら彼女、大いなる母のプレゼンスがそこにあるからです。**

**生まれて来る赤ん坊の肉体は聖霊的に築かれ、それは創造されたものです。しかし、それは生まれてくる特定のパーソナリティーにとって何であれベストなものを現すために創造されたものです。つまり、生まれてくる特定のパーソナリティーのために、特にその肉体が築かれるのです。**

**堕胎、その他の理由で出産が実現しない場合には、それは必ずしもそのパーソナリティーはサイコノエティカル界に留まり、そこでさらなる成長を続けることを意味しません。反対に、その特定のパーソナリティーは別の身体が築かれるのを待って、その中に入り肉体として生まれて来るのです。**

**レッスンで述べたように、新しく生まれてくる赤ん坊は新しいパーソナリティーとして墓のなかに入るのです、それはマインドの一番低い波動のなかに入るからであり、実際それが死なのです；ここで言う死とは、そのパーソナリティーがLifeの本質の現れが最も強く制限されている中に入るからです。なぜなら、そのパーソナリティーは5つの影の感覚を使用することになるからです。もしそのパーソナリティーが5つの真の感覚を使用するのであるなら、それはLifeからの多くの能力を現すことになり、Lifeの本質を現すために多くの制限はなかったことでしょう。つまり、その場合には、私たちにはLifeに関して、そして自分自身に関して多くのイリュージョンを現す必要はなかったことでしょう。**

**Q：サイコノエティカル界にいる全てのパーソナリティーたちは皆、全員同じ期間そこに留まるのですか？それともパーソナリティーによって異なるのですか？**

**Page2**

**K：何年というような決まった期間はありません。なぜならサイコノエティカル界には3次元におけるような時間というものはないからです。ですから数ヶ月から例えば500年まで、様々です。しかし、サイコノエティカル界の波動においては、“何年”であろうともそれは誰にとっても一瞬なのです。**

**Q：真の五感をマスターしたパーソナリティーはそれを思い出すのですか？それとも次の転生でそれを現すことができるのですか？**

**K：もしそのパーソナリティーが真の五感を使う能力を獲得するなら、それはつまり3番目のサイクルをマスターしたことを意味し、つまりそのパーソナリティーがすでに4番目のサイクルに入って超意識のセルフエピグノシスを使用していることを意味します。それは超意識的に生きており、多くのパワーと能力を現し、ある程度まで意識的に幽体離脱も現します。**

**特別な理由がない限りは、何であれ獲得したものは失われません…例えば、他の人々のためにそうする理由がある場合、または何かを行ってそのためにそれを克服する必要がある場合など、特に他の同胞の人間達に関することなどで。それはいわばカーテンのようなもので、新しい転生においてしばらくの間はそのカーテンが掛かっているようなものです。**

**自己実現したパーソナリティーの場合には、そのパーソナリティーは他の人々にはそのような能力がないことを認識しないこともあり得ます。その結果、他の人々が自分とは異なっていることに気づかないこともあります。しかし、時間が経るにつれて、そのことに気づくでしょう。**

**Q：全ての法則は現在のパーソナリティーが無知のなかに取り込まれるのを助け、また同時にそれから解放され自由になるのを助けるのですか？**

**K：法則とは何かを説明しましょう。創造界における最大の法則は私たちが生命の木と呼ぶこの骨組みです、そしてこの大きな法則のなかには創造界の中にある他の全ての法則があります。この法則はLifeの中にあり、またLifeからのものであり、この骨組みは元型である人間のイデアフォームに形を与えます。この骨組みは完全に活性化されたLifeにとって必要なものです；さもないと、Lifeはその本質を完全に現すことができません。**

**この骨組みが人間のイデアを与え、またLifeの本質を完全にあらわしているLifeの現れを与えます。そして現在のパーソナリティーがLifeによって活性化されているにもかかわらず、Lifeの本質を表現しないということもまた、その結果なのです。**

**現在のパーソナリティーがLifeの本質を表現しない理由とは、初めは球体をした不定形のサイコノエティカル体としてスタートしなければならないからです。球体であるということは、その骨組みが完全には活性化されていないということです。骨組みは不定形の諸体を再形成することによって活性化されることになります。**

**ですから、これが大きな法則であり、それはいろいろな現れのためだけでなく、創造界のこの大きな法則のためです。この大きな法則は最大から最小のものにまで適用されます。もし私たちが人間を深く学ぶと、創造界をも学んだことになります。最大のものは最小のものと同一であり、その反対も言えます。**

**現在のパーソナリティーのための諸法則に関しては、それらは下の三角形の底辺からスタートします。右側には現在のパーソナリティーが制限ある現れの中に入るのを助ける諸法則があります。そして反対側にはLifeの本質に関係するステップがあります、なぜなら人間のイデアを通じたLifeのスパークの真の本質は、全てのアークエンジェルのオーダーに与えられている全ての能力を備えているアークエンジェルだからです。**

**現在のパーソナリティーが啓発に向かって進み始めると、再びその同じ諸法則が様々なサイクルの中で見いだされます…様々なピラミッドのように。それらのピラミッドはそのパーソナリティーが自己実現に向かうのを助けるものです。このステートでは、一つのサイドにはエゴの様々な側面があり、そして他のサイドにはいわゆるヤコブの梯子があり、ヤコブの梯子は7つのアークエンジェルのオーダーを意味します。ステップ、段は14ですが、各アークエンジェルのオーダーには2つの段階があります；1つのステップはオーダーを意味し、他のステップはそのオーダーが現していてエンジェルとして顕現しているもの、及び何であれエンジェルから来るものを意味します。**

**現在のパーソナリティーが上に進んで行くと、ゆっくりとパーソナリティーはいわゆる最初の磔に到達し、それはそのパーソナリティーが自己実現またはキリスト意識に到達したことを意味します。しかし、なぜキリスト意識なのでしょうか？なぜなら、あなたがより下の三角形（＊大きな下向きの三角形の中にある下向きの小さな三角形）の底辺にいるということ、それは現在のパーソナリティーの大きな三角形をマスターしたことを意味します。この三角形の中には他の小さな三角形があり、その三角形はその上の小さな三角形と底辺を共有しています。そして自動的にそれと同一化します。この上側の小さな三角形は同調する能力を意味し、実際に何であれイエスキリストロゴスからのものを現します。それゆえに、私たちはそれをキリスト意識と呼びます。パーソナリティーはその瞬間、そしてそれ以降は名前のある現在のパーソナリティーとしてではなく、最愛のお方の名前で働くことができます。**

**Page3**

**そうです、現在のパーソナリティーの諸法則は一番下にある下向きの大きな三角形のなかにあります。すべての法則はこの骨組みの中にあり、それはまた全ての人間のなかにあります。そして神は全ての人間の中にいます。勿論、私たちはだからといって神に責任を押しつけるべきではありません。あなた方は現在のパーソナリティーとして自分自身の行動に責任があります。**

**Ｑ：子供はいつから自分自身の行動の責任を負うようになるのですか？**

**Ｋ：まず7歳までの子供はどちらかと言えば自分のファンタジーの世界に住んでいます。なぜなら、サイコノエティカル体がまだ肉体と完全にはつながっていないからです。そのために子供たちは遊んだり、行動したりしてたくさんのファンタジーを表現しているのです。そして両親には多くの責任があります、なぜならこの年齢の子供はスポンジのようだからです。しかし、子供達がそれ以前に得たものを現す時も来るでしょう。なぜなら、得たものは何も失われないからです。この吸収は（＊スポンジのように周囲からの影響を吸収すること）14歳まで続きますが、しかしあまり強くはありません。その後14歳から21歳まで、そして年齢が進むにつれ、歳を重ねるにつれて吸収はだんだん少なくなります。人間の場合はこのようになります。**

**Q：生命の木ではWidest of Heavens はどこに相当するのですか？**

**K：それは大きな三角形（＊一番上の三角形）の底辺の線上にあります。しかしまた大きな三角形の中とも言えます。彼女は絶対存在の本質の最も重要な特質の一つです。結局、絶対存在がそれ自身の中に現される時でさえ、彼女を通じて現されるのです；それ自身の現れとしての絶対存在がロゴス、汎宇宙的ロゴス、そしてイエスキリストロゴスとして表現されます。**

**まず、Widest of Heaven はここにありますが、しかし創造はまだ始まっていません。生命の木を分析したときに話したように、創造はここから始まって、下にいきます（真ん中の長方形を指しながら）。**

**上から見て最初の長方形はアウタルキーのなかでのステートを意味し、ディバインの黙想が創造界及び何であれ創造界にあるものを創造します。それは私たちにはそれを分析してアプローチすることのできないステートです。私たちに言えることは、ディバインの黙想がそれ自身を顕現することを準備している、ということだけです。しかしこのポジションから下は、ディバインの黙想の中で、モナドスピリットセルフがそれ自身から微細な部分を投射する動きがあります。**

**そして、ロゴスのサイドでは、人間のイデアを通じて、スピリットモナドセルフが出てきますがまだ魂のセルフエピグノシスとして顕現していません。聖霊的サイドではスピリットモナドセルフがそれ自身の微細な部分を聖霊的イデアを通じて投射し、何であれ表現されるものが顕現することになります。しかし、Widest of Heavens　はLifeが完全に現される所からスタートします。Lifeの本質はWidest of Heavensを通じて初めて完全に表現されるのです。**

**Q：地球の全人口に対する啓発した、あるいは自己実現したパーソナリティーの割合はどのぐらいかわかりますか？**

**K：多くはありません。いいですか、ずっと以前にも自己実現した人達はいました、この地球上に初めて人間が誕生した時にもいました。それは想念願望のエレメンタルを築くように人間たちを導くためです；より多くの人間が特定のエレメンタルにフォーカスすればするほど、そのエレメンタルはより強くなるからです。**

**初期の頃から、人間は信念体系に従っていましたが、非常に強い信念体系の一つは悪魔崇拝でした。彼等は無知への奉仕者、つまり否定性への奉仕者である悪魔を築きました；そしてその結果、人間はその方向に、それらのエレメンタルに、それらのシステムにフォーカスしました。そうです、いわゆるバランスというものがあります。人間がそれらの悪魔を、悪魔崇拝を築いたのは偶然ではありません。勿論、神による創造ではありません；それは人間、人類の無知の結果として作られたのです。**

**Page4**

**これらのエレメンタルを非活性化させるべきだと言っても、それは力によってそれに対抗するということではありません。力ではなく、信念なのです；もし何も自分を害することはない、とあなたが信じるなら、何ものもあなたに害をもたらすことはありません。いいですか、何もそうすることはできせん。もし悪魔的なエレメンタルに出会ったら、ただ真っ白な自分自身を見て、そしてもし可能なら（やってみてください）あなたがいる場所を純白の色で満たすのです。そうすれば彼等はそれに耐えることはできません。**

**そうです、私たちは二元性、対立する2極の諸世界におり、私たちの無知の結果として調和をバランスに変えてしまったのです。そして勿論あるレベルまでそれが生じます。あるレベルから上は、それらは（＊悪魔的なエレメンタル）非常に弱くなり、何もすることができません。そしてあるレベルと言いましたが、それは現在のパーソナリティーが超意識的意識のセルフエピグノシスを現し始める時です。そのパーソナリティーはそれらの無数のエレメンタルに出会っても何の問題もなしにいることができます。もちろん、その時、それらのエレメンタル達は個人ではなく軍団として攻撃してきますが、それでも彼等は何もすることができません。**

**Q：しかしなぜ彼等は軍団として来るのですか、なぜ自分達には何もできないことがわからないのですか？**

**K：彼等は生き残ろうとするのです；それらのエレメンタル達は生き残るためなら、自分達を活性化させ続けるためならなんでもします。惑星上で人類全体が自己実現すると、それらのエレメンタルに人間がエネルギーを与えることがなくなり、その惑星では二元性が存在しなくなります。それゆえにその時からその惑星は自己実現した星と言うのです。そしてそれ以降、悪魔的なエレメンタルは存在しなくなります。なぜなら、人間が悪魔的な想念、否定的な想念を生み出さなくなるからです。**

**神は2つ在るわけではなく、神は1つだけであり、その神は私たちの内側にいます。しかし神は現在のパーソナリティーに活動の自由、そして悪魔を創造する自由さえも与えています。なぜなら、この自由がなければ私たちは経験したり、バランスのなかに入ることもないからです；これがバランスです…何かが片方にあると、反対のものが他方にある…これがバランスです。アンバランスなパーソナリティーの場合も、これと同じです。時には1つの方に行き、別の時には他の方に行き、完全なバランスの状態がほとんどありません。**

**人類は全体としては啓発に向かっています。つまり、彼等はLifeそれ自体からより多くを現すようになるということです。今日この地球には昔よりもより多くの自己実現したパーソナリティーがいますが、しかし人口数と比べるとその割合は高いとはいえません。**

**Q：今、人々は以前よりもより深い問題に興味を抱くようになっています。しかし、全員が自己実現するまで、私たちはどのようにしてこのバランスに働きかけていけばいいのでしょうか。なぜなら自己実現した人々が増えれば増えるほど、悪魔的なエレメンタルがバランスを維持しようとするのではないでしょうか。**

**K：彼等はより一層藻掻くようになります。彼等は生き残ろうとします。しかし私たちが進むにつれて、バランスさえもが消えていきます。どのようにしてこれが起きると思いますか？もし私たちがXという量を動かす必要がある時、非常に多くの努力が必要となります；もし力が非常に大きければ、より少ない努力で十分です。しかし勿論他方にも同じ事が言えます。ですから啓発した人が多ければ多いほどより楽になります。だからより多くの人間が啓発に向かって進む時にそれが言えるのです。**

**Q：信念と信仰についてもう少し説明してくれますか？あなたはもし信じるなら､何ものもあなたを害することはできない、と言います。イエスは砂粒ほどの信仰があるなら、山をも動かすことができると言いました；私はそれについてもう少し深いレベルでの説明を聞きたいのです。**

**K：イエスキリストが意味したことは、もしあなたがリアリティーと知識にアプローチするなら、誰もあなたからその信念を奪うことはできない、ということです。つまり、経験的知識に基づいた信念があるなら、誰もその人からその信念を奪うことはできない、ということです。そしてその人はLifeそれ自体からのそのようなパワーと能力を現すことができる、ということです。それが比喩的に山をも動かすことができると述べたのです。**

**Q：自分の周囲に信念でシールドを作る場合、誰も攻撃してくることはできませんか？**

**K：信念は強いシールドをあなたの周囲に作ります。もしあなたがどんな疑いも持たなければ、それは100％の効果があるでしょう。；しかしあなたが疑問を抱いた瞬間、あなたはその信念を破壊することになります。私のアドバイスは、知識を得て、その知識と交流するようにすることです。あるいは、最初はいかなる疑問を持たずにそれを信じます；しかし忍耐が必要です。なぜならもしあなたが聞いたこと全てを拒否するなら、それは何の効果もないからです。**

**Page5**

**レッスンの中で述べましたが、もし何であれあなたに伝えられた内容があなたと交流しなければ（＊その人の中に入らなければ）、何年間あなたが参加してもその教え、方法はあなたには適していないことになります。つまりその波動はあなたにはまだ適していないということです。私たちが何であれ最高のレベルを提供していると言いたくはありません、なぜなら主だけが主の道を完全に示すことができるからです、主だけが。しかし主は道を示しました、そして主に従う人は少数であり、現代においてもそれは少数です。**

**レッスンPYR 78 エクササイズ　No.1**

**目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…白い自分自身を見、自分の形の境界を感じます…同時に五芒星の純白のなかで守られているのを見ます…**

**あなたは自分が今いるところを完全に気づいています…あなたはこの部屋にいて、この部屋のことを良く知っています、あなたは椅子に座っており､同時にこの部屋にいるあなたの周囲には他の探求者たちも座っていることを知っています…**

**さて、この部屋に霧のような輝き、光が徐々にはいってきます…その光の色はホワイトブルーです…今その光が部屋全体を覆っています…今あなたは霧のようなその輝きのなかを泳いでいます…あなたはこの輝きに包まれています、それがあなたに与える影響を感じます…それはホワイトブルーの色の輝きです…**

**今、別の色の輝きが徐々に部屋に入ってくるのに気づきます…それはホワイトピンクの光で､今や部屋全体を覆っています…そして今この部屋には2つの色の輝きがあります…最初のホワイトブルー、そして次のホワイトピンクの輝きです…再びこのホワイトピンクに包まれている影響を感じます…**

**次に、さらに別の色の輝きがゆっくりと部屋に入って来て、部屋全体を覆います…それは金色の輝きで、今や3つの色の輝きが部屋の中にあります…あなたはこの金色の輝きに包まれていて、そこからの影響を感じます…あなたはこれら3つの色の輝きに包まれていますが、それら3つの色はそれぞれあなたに異なった影響を与えています…これら3つの色の輝きに包まれた結果、どのような変化があなたに与えられたかをみてください…あなたの現在のパーソナリティーを悩ませているものを解き放ち、どんな痛みも手放し、あなたは今とても快適で､健康であり、笑顔になり幸せを感じています…これが3つの色の輝きに包まれた結果なのです…あなたの現在のパーソナリティー全体が健康であることを願います。終わります。**

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

**皆さんを守るものとして五芒星が与えられています。しかしもう一つの守りがあり、残念ながら皆さんはそれを忘れています。それは皆さんを包む卵型の白い輝きです。それはあなた方を守り、大きな助けとなります。時々、それをも実践してください。そしてそのエクササイズの最後には、常にエネルギーに包まれることを願います。この白い輝きによってあなたが守られ、生き生きとした状態で過ごす上で大きな助けになります…あなたを害し、攻撃しようとするものを非活性化し、その力を失わせます。しかし、そのネガティブなエネルギーを送り主の方に送り返してはなりません。なぜならそうすると、7倍の力になって送り主に戻ることになるからです。す。**

**レッスン　PYR 78 No.2**

**目を閉じて静かに座り…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分を見て、自分の形の境界を感じます…**

**自分の周囲に卵型の白い輝きのヒポスタシスを与えます…あなたはこの卵のような形をした白い光、輝きに包まれて守られています…そしてこのシールドによってあなたを攻撃しようとするどんなエネルギーからも守られることを願います…あなたを守るのと同時に、卵型の輝きはあなたを攻撃しようとするエネルギーを無力化させます…あなたを守るこの卵型のシールドが常にエネルギーで活性化されていることを願います…それは卵型の純白の輝きです…**

**アガピと主の祝福があなたと共にあり、あなたの愛する人々と共にあり、あなたの家に、そして世界全体にあることを願います。私たちは常に主、絶対､主の聖性によって包まれています。終わります。**

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

**Q：五芒星の中で卵型を視覚化するのですか、それとも卵の周囲に五芒星を視覚化するのでしょうか？**

**K：実際、五芒星はずっと大きいのです、卵が最初で、次に五芒星です。また卵と言う時、卵型の輝きが五芒星の輝きのなかまで浸透してきても構いません。重要なのは意味であり、あなたがこのシールドに付与する意味なのです；常に守られているという意味を付与します。その結果、あなたに害を与えようとしてそこにめがけてくるもののエネルギーを消すのです。ある意味でそれは二重の保護となり（＊卵型と五芒星の両方に包まれること）、そのパーソナリティーとよりつながり、何であれそのパーソナリティーを害するもののエネルギーが失われ、解消します。そしてそれは焦点を失うことによって達成されます。**

**Q：それは（＊攻撃しようとするネガティブなもの）解消され、エネルギーを失い、焦点が失われることによって、私たち自身が守護されるということですか？**

**K：そうです、なぜなら私たち自身の思考、考えが最大の敵だからです。最悪の場合には、焦点の消失を助ける、という助けが必要となります。それゆえに、現在のパーソナリティーである自分自身に対するワークが必要であると述べているのです。そしてもしそのパーソナリティーが自分自身を助けることができない場合には、誰かに助けを求める必要があります、特に霊的なヒーラーに。その手順はケースバイケースで異なります、問題を抱えている全ての人間に対する対応を一般化することはできません。それらの問題とは結局は、その人自身が創造したものだからです。**

**Q：誰か他の人のために卵型のシールドを作ってあげることは効果がありますか？**

**K：はい、他の誰かのためにそのシールドを作ることができます、しかし個人的なものである五芒星ではありません。（＊卵型のシールドを作る場合）相手の許可を求める必要はありません、なぜなら、あなたは相手を思いやり、相手のアガピを現すためにそうするのですから。**

**Q：なぜ神に直接助けを求めないのですか？**

**K：もし、そうしたければ神に願ってください。神は言葉が必要だと思いますか？神に向かって言葉を使う時、それは現在のパーソナリティーである私たちが言葉を必要とするのであり、神が必要とするわけではありません。なぜなら、話したり、祈りの言葉を唱えたりする時、私たちはエレメンタルを創造し、それらのエレメンタルが後に効果をもたらすからです。一般的に人間が苦しんでいる時にすることは、自動的に神または処女マリア、またはイエスキリストロゴスに助けを求めます…その人が神を信じていなくても。苦悩や苦しみがある場合、人々は自動的にそうします。しかし、もしどんな結果も得られない時には、不可視のヘルパーにお願いします。**

**そうです、私たちは神または最も広大なヘブンに祈ることができます。しかし、前に述べたように、神に向けた最も重要な祈りとは、毎日の生活において同胞の人間達に対する私たちの態度・行動です。私たちはアガピを持って人々と向かい合うべきです；人々の現れがどうあろうとも、人々を抱きしめるべきです。真剣な探究者はいわゆる敵をもつべきではありません；私たちの唯一の敵は、私たち自分の無知の故に自分で生み出すものです。それが私たちの唯一の敵です。同胞の人間達を敵とみなすべきではありません､彼等を抱きしめるのです、そしてあなたが彼等に期待していることを彼等が表現しない場合、彼等を助けなさい。結局、自分達が現すものが正しいと確信していますか？ですから私たちはそうするべきなのです。**

**EREVNA PYR 78 KE08 / No.4/S3/12/07**